

平和への願い

読谷小学校4年 銘莉未来

私は、買い物へ行く時や病院へ行く時、いつもかでなひこう場のそばを通ります。そのたびにいつもドキドキしています。なぜなら灰色の大きなひこうきが私たちの車の上から通からです。ゴーゴーと大きな音をたて、くろいかげがすうっとうつります。その時「もし、落ちたらどうしよう。こわい。」と思うのです。

ふつうのひこうきとはちがうひこうきを見た時、私は、どうして沖縄にはせんそうは起きていないのに、フェンスで囲まれたきちがあつて、せんそう用の服を着た人がせんそうの練習をしているのか、私は祖母に聞いた事があります。すると、祖母は私に昔の話を聞かせてくれました。昔沖縄でせんそうが起こり、祖母は、私のひいおじいさんといっしょに山ににげ、てっぼうをつきつけられて、とてもこわい思いをした事や、たくさんの友

達やしんせきをなくした事、そして、日本がせんそうをしたために今も沖縄にはきちがあるといい、

「二度と、せんそうはしてはいけない。いつも、こどもや弱い人がつらい思いするんですよ。」

と、ときどき目をうるわせながら話してくれました。私は、祖母のかなしいそうな顔を見た時むねがいたくなりました。

今、私の住んでいる沖縄は、きちがあってもせんそうはおきていません。でも、ほかの国ではせんそうが起きています。テレビで見た様子は、子ども達や人々が血だらけになったり、ケガをしたりしています。私は、それを見るたびに祖母の話を思い出します。せんそうのテレビを見た夜は、夢に出てくる時もあります。

（もし、朝おきたらせんそうが起きていたらどうしよう。てっぽうをもっている人がいたらどうしよう。）

と、考えるのです。

私は、大きな夢をもっています。毎日、毎日、やりたい事がいっぱいあります。私だけでは、ありません。お友達や世界中の子ども達はみんなそうだと思います。私達は、学校やお家でケンカをしてはいけません。みんなでなかよくする事が、大切だと先生や大人の人達から教えられます。でも、世界のどこかでは、大人の人達が国と国でケンカをしています。それは、正しい事なのでしょうか。どうして、人をきづつけないで話し合いをする事ができないのでしょうか。せんそうをしてもたくさんの人がしにたくさんの人達がかなししい思いをするだけです。私は、戦争をしていない国に生まれて幸せです。

世界の子ども達が、いつも笑顔で家族や友達とすごせる国にしてください。

私達が夢をかなえられる国にしてください。
平和な世界にして下さい。